

ルピナス 230

藤野ふるさとまつり



災害に強い

まちづくりをめざして

藤野地区町内会連合会 副会長 星野 数夫

藤野社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）運営委員会研修活動班に所属）に於いては、災害に関する研修会を。平成二十九年二月には、日常の見守りと活動と災害時の支え合い活動の必要性・アンケート結果における単位町内の取り組み状況・五六災害・九・一一豪雨災害について事例発表。平成三十年三月には、災害に関する「正しい知識の習得」災害から「自らの命を守る備え」公助の活用、また福祉・防災マップの活用方法、町内会の役割（自主防災・情報収集、消火・救出救護、避難誘導、給食給水）とその限界についての研修会を開催。毎回百名以上の方が研修会に参加され大いに活用されていると思います。

災害は最近忘れない内にやっつけてきます。日頃の危機感が大切になって来ました。

昨年二〇一八年九月六日国内初の胆振東部地震による全域停電（ブラックアウト）が発生しました。また、今回の台風十九号では、これまででは大きな災害が発生しないと思われてきた地域でも発生、今後いつ何処で起こるか分からない災害に対して今日、人間関係の希薄化や高齢者、

独居世帯の増加などの社会の変化にともない地域のつながりは弱くなっています。この災害を機会に住民の防災に対する意識が高まっている時に地域のつながりの必要性があらためて認識されています。

藤野地区町内会連合会として今年で創立五十周年を迎えた記念事業の一環として全十九町内会にパソコンや携帯電話・スマホなどにも対応するインバーター機能付きの非常用発電機を配置しました。各町内会の防災関係者が一堂に会し町連倉庫前にて七月にデモンストレーションを実施しました。発電機配備を機に住民の防災意識を高め、災害時には藤野地区が結束して対応していきたいと考えております。

北海道新聞さっぽろ十区（トーク）発行に記事として九月十日（火）掲載されました。九月十二日（木）には、令和元年度南区防災訓練が藤野地区町連十九町内会・藤野南小学生他関係機関（藤野南小学校グラウンド）にて実施三百名が参加しました。

藤野地区町内会の皆さんと大いに意見交換を重ね災害に強いまちづくりをめざして進んでまいります。

写真でふりかえる

第29回 ふるさとまつり

8月3日(土)

おまつりに御来場下さいました町内会の皆様、また、開催にあたり協力くださいました出演者の皆様誠にありがとうございました。尚、朝早くから夜遅くまで暑い中ご協力くださいました役員の皆様誠にご苦労さまでございました。

第二十九回ふじのふるさとまつりは、幸いにも天気に恵まれ、藤野地区町内会連合会創立五十周年記念の冠イベントとして記念コンサートが十一時三十分から行われ、藤野中学校吹奏楽部の皆様の演奏とブラックベンチャーズによる演奏でお楽しみいただきました。

皆様には大変ご好評頂戴致しました。

来年は、第三十回目の記念すべきふじのふるさとまつりでお会いできることを役員一同楽しみにしております。



町連「花いっぱい運動」に大臣表彰

連合会環境部は元年度町づくりビジョン「花と緑、文化と福祉のまち藤野」を指針とした花いっぱい運動を推進してきましたが、この度、第二十九回ふるさとまつり会場で「第三十回緑の保護」功労者国土交通大臣表彰伝達式が行われ、南区長より賞状と盾を授与されました。例年六月上旬に歩道美化事業、緑の協定事業、230プログラムサポート事業の推進を多くの町内会、道銀藤野支店及び花愛好会の協力により230号線や市道などの花壇柵に多数の花木株を植栽してきた努力が実ったと思います。

また、植栽された花の成長を写真に収めたフラワーガーデンング写真を九月に文化部と共催で行い、会場に多くの方たちが訪れ、熱心に見入っております。



受賞する 古川和夫環境部長



南区防災訓練

大規模災害へ備えよう。多数の地域住民らが参加して南区防災訓練が九月十二日（木）午前九時三十分から、藤野南小学校グラウンドなどを訓練会場に行われました。平成三十年の北海道胆振東部地震の記憶もまだ新しいだけに参加者らは真剣な眼差しで訓練に取り組んでいました。

この日参加したのは、藤野地区町内会連合会の十九単位町内会の自主防災組織と住民百五十九人をはじめ、藤野南小学校の児童、藤ヶ丘幼稚園、保育園の園児や障害を



訓練に臨む参加者

持った人達。南消防団、南警察署、札幌市身体障害者福祉協会など9つの機関、組織、会社も参加し、地域住民による「自助」「共助」と行政機関による「公助」の一体となった訓練を繰り広げました。

訓練は「令和元年九月十二日九時三十分、札幌市において強い直下型地震が発生した」との想定のもとにスタート。六つの班に分かれ、火災時の避難、初期消火、負傷者に対する応急処置、土砂崩れを想定した土のう訓練などをローテーションでこなしました。火災時の避難訓練ではテントの中の煙道を助け合って避難したり、消火器で炎を消す訓練や消防車が現



実際の炎への消火訓練

場で実際に使用するホースによる消火作業を体験しました。応急救護訓練では「三角巾などを使用し、の応急措置」「心肺蘇生法」などを学びました。土のう訓練では、実際に土のうを造ったり、水道局の給水車による給水体験もしました。

訓練会場には消防車や燃料電池使用車なども展示されました。はしごが二十五メートルにもなる屈折車や五十人くらいのごはんを一度に炊け、二十三人が乗れる消防車（支援車）や燃料電池使用車などの説明に、興味深げに聞き入っていました。避難所生活が長期化することも考えられることから、地域住民が主体となった避難所の



小学生と土のうを作る

開設運営訓練も行われました。訓練に参加した人は「初めて参加しましたが、勉強になりました」と話していました。



救急車



煙道通過の避難訓練



給水を体験する



消防の支援車を見学



段ボールベッド



避難場所の運営訓練



高齢化が進む藤野地区は、南区でも高齢化率が二番目という深刻な状況にあり、一人一人が健康で長生きできることを意識して生活できる一助になることを目的にこれまで、札幌市が応援する「健康づくりサポーター」を講師に迎え、

健康で元気がからだづくり
藤野いきいき、元気フェスタ

今年で四回になる「藤野いきいき元気フェスタ」は、八月二十九日に藤野地区センターで、藤野地区にお住まいの方が、健康で元気な日々を過ごしていただける手助けになることを目的に、藤野地区社会福祉協議会が南区の保健福祉部・南区社会福祉協議会・南区第二地域包括支援センター・介護予防センター「定山溪の協力で開催しました。



認知症予防や健康づくりに関する助言・指導を実施しており、今回は「楽しく笑って若返り体操」を中心に笑いを交えた講師の健康体操や体力測定・健康チェック・健康相談など、二時間の予定で一〇人以上の参加者が汗を流して、健康の大切さを確認した時間でした。今後も、多くの皆さんが元気に長生きすること「健康寿命」を延ばす取り組みを進めていきたいと思えます。

藤野地区文化展

第二十五回藤野地区文化展、第十八回フラワーガーデンニング写真展（主催・藤野地区町内会連合会、主幹・同文化部）が九月七日（土）、八日（日）の両日、藤野地区センター一階アリーナで開かれました。町連のビジョンである「花と緑・文化と福祉のまち藤野」にふさわしく、会場には日頃の研さんの成果をしのばせる佳品や創意工夫あふれる作品が並び、訪れる人の目を引いていました。

作品の分野は実に多彩。油絵、水彩画はもとより、水墨画、書、手工芸、ガラス工芸、陶芸などなど。夕暮れの風景を浮かび上がらせた七宝焼の作品やコインを使って刀剣をつくった珍しい作品。



SLC62の精密な模型も力作だった。出展は個人ばかりでなく、絵画同好会「りんどろ」や本通町内会女性部の実用的な布のバッグ、小物入れなど、グループでの出品も多かった。



一方、会場に文字通り花を咲かせたフラワーガーデンニング写真展には、今年も約百点の写真が展示されました。それぞれの家庭で丹精こめて育てられた花々のベストショットがずらりと並んでいます。



編集後記

本年は、藤野地区町内会連合会は創立五十周年という大きな節目を迎えました。それに伴い創立五十周年記念式典祝賀会を開催致しました。その内容等につきましてルピナス一〇六号にて特集ページを組みたいと思っております。

（渡部記）

祝

創立50周年記念

本年、藤野地区町内会連合会は創立五十周年を迎えることとなりました。これもひとえに先人のご苦勞の賜物と感謝申し上げます。尚、十月二十七日に創立五十周年記念式典・祝賀会を開催致しました。関係各位の皆様には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。

藤野地区町内会連合会
会長 吉田 健治

ルピナス第一〇五号

令和元年十一月一日発行

発行者 吉田 健治
編集者 渡部 徹

印刷所 日光広告株
連絡先 五九三〇二二五（高橋）